

西目高で「ものづくりコンテスト」 磨いた測量技術競う 5校出場、能代科技が優勝



高校生たちが測量技術を競った大会

「高校生ものづくりコンテスト2021」の測量部門県大会が、由利本荘市の西目高校で開かれた。県内5校の土木科などで学ぶ計15人が出場し、日頃の実習で鍛えた技術を競い合った。県高校教育研究会工業部会の主催。

5校は大館桂枝、能代科技、秋田工、西目、大曲工。コンテストは28日に行われ、各校3人のチームで臨んだ。生徒たちは炎天下、グラウンドに五角形に設置されたポイント間の距離と角度を「トータルステーション」と呼ばれる測量機器などを使って調査。その後、室内に場所を移し、観測値を基に測量データ

を算出した。計算結果の精度、作業のスピードなどを基に採点が行われ、大館桂枝高が進優勝した。両校は来月20、21日に西目高で開かれる東北大会に出場する。(遠藤卓之)